

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29412	子ども家庭支援論	宗政 朱利	2年次・前期	講義・2単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
現代の子育て家庭が置かれている現状を理解し、子育て家庭に対する支援について学んでいく。また、子ども家庭福祉分野で保育士として求められる支援の専門性や関係機関、活用できる社会資源を把握し、さまざまな子ども家庭福祉の課題に対応できるよう、子ども家庭支援について理解を深めていく。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 子育て家庭に対する支援と意義、その機能について理解する。	A-②、B-②
2. 保育士の専門性を活かした支援について理解する。	A-②、A-①
3. 子育て家庭の支援体制について理解する。	A-①、A-②
4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と関係機関との連携を理解する。	A-①、B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	100%	課題30点。最終日に筆記の確認テスト70点。合計100点満点。

教科書 / Textbooks
原信夫・松倉佳子・佐藤ちひろ 編著 『子ども家庭支援論(第2版)』、北樹出版、2024

参考書 / Reference Books
必要な資料を配布する。

予習・復習 / Preparation・Review
教科書は必ず持参する事。授業内容を深めるため課題を出すこともあるので、日頃からニュース・新聞などで、科目に関連する社会的な出来事についてチェックすること。毎時間教科書を事前に読み、授業時に配布したプリントを読み返し、わからないことがあれば聞きに来ること。(予習復習の時間は90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
授業時に全体向けにフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note
Google Classroomに掲載してある課題や資料を自分で確認しておくこと。対面授業での欠席の場合も同様に、課題を確認し提出すること。また、授業内で出された課題の形式・提出期限は守ること。形式が守れていない場合や提出期限を超えたものは、得点を半減する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	子ども家庭支援の意義と必要性
	子ども家庭支援の意義と必要性について理解する。
02	子ども家庭支援の目的と機能
	子ども家庭支援が行われる目的、方向性、その機能について理解する。
03	子育て支援施策・次世代育成支援施策
	子育て支援施策・次世代育成支援施策について理解する。
04	子育て家庭の社会資源
	子育て家庭が利用できるフォーマルな社会資源について理解し、その現状を把握する。
05	子育て家庭の社会資源
	子育て家庭が利用できるインフォーマルな社会資源について理解し、その現状を把握する。
06	保育士による子ども家庭支援とその意義
	保育の専門性を活かした子ども家庭支援について理解する。
07	子どもの育ちの喜びの共有
	子どもの育ちの喜びを共有することとは、その方法について理解する。
08	保育士に求められる基本的態度
	保育士と保護者との信頼関係の構築、関わり方について理解する。
09	地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携、協力
	地域資源の活用とその実際について理解する。
10	子ども家庭支援の内容と対象
	家庭の状況に応じた支援について理解する。
11	保育所等を利用する子どもの家庭への支援
	保育所が行う支援の理解とその役割と期待について理解する。
12	地域の子育て家庭への支援
	地域の子育て家庭への支援について理解する。
13	要保護児童及びその家庭に対する支援
	要保護児童とその家庭に対する支援の枠組みについて理解する。
14	子ども家庭支援に関する課題と展望
	今後の支援に関する課題と展望について理解する。
15	まとめ
	授業の総括を行う。